

秋季年末闘争に全力で取り組もう

10/29 各地方・地区本部業務部長・職協議長会議を開催

制度改善要求に向け、諸行動を職場から取り組もう!

10月29日に検修職場「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」についての提案が行われた直近の会議と、11月9日に「解明要求」(申3号)を提出するとともに、対策委員会を設置し本部・地方が連携を図りながら取り組みを進めることを確認しました。また、会議では、

- ① 秋季年末闘争(年末手当、制度改善要求の取り組み)
- ② 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」提案に対する取り組み
- ③ 懸案事項の取り組み

について(検証委員会要求、新型インフルエンザに



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

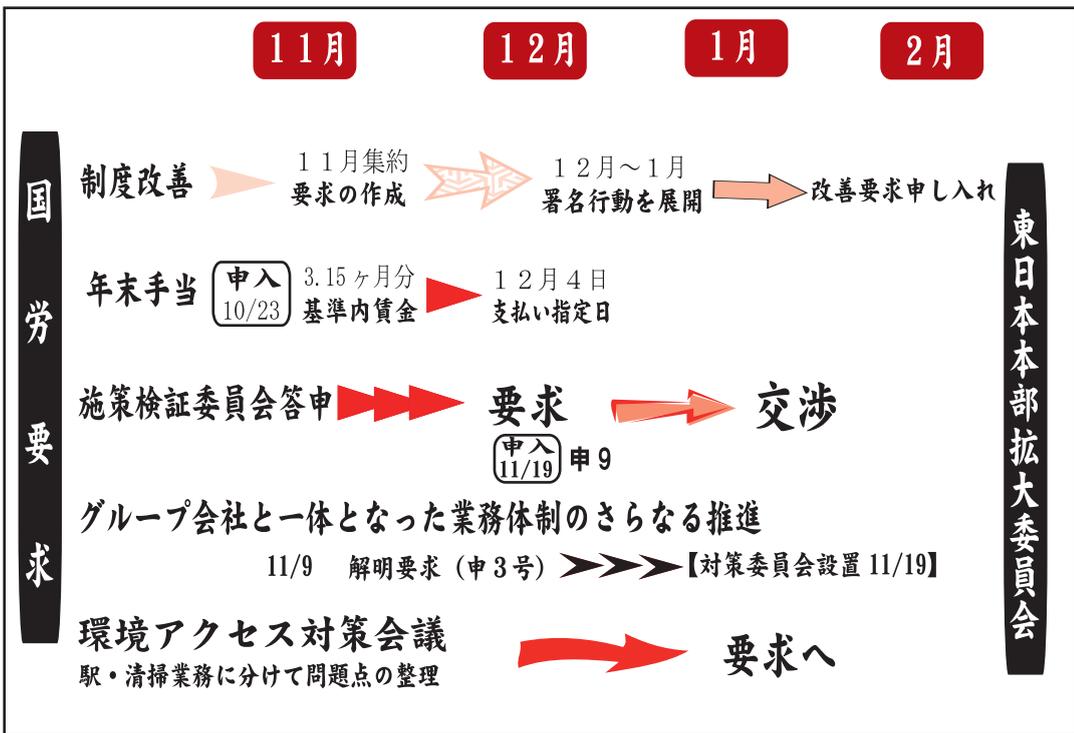
No. 690 定価 20円

2009年

11月 26日

今日も笑顔で 一歩かけて
一人一人が 組織拡大

第2回組織拡大標語 最優秀作品



10月29日に検修職場「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」についての提案が行われた直近の会議と、11月9日に「解明要求」(申3号)を提出するとともに、対策委員会を設置し本部・地方が連携を図りながら取り組みを進めることを確認しました。また、会議では、

10月29日に検修職場「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」についての提案が行われた直近の会議と、11月9日に「解明要求」(申3号)を提出するとともに、対策委員会を設置し本部・地方が連携を図りながら取り組みを進めることを確認しました。また、会議では、



○車両センター、総合車

具体的な委託業務は以下のとおり

○総合車両センター
現行、委託している業務に加え、以下の業務を一括して委託する。

- ① 構内車両移動(入換機関車による入換、トラバースによる車両移動等)

10月29日、会社は、エルダー社員の技術力・ノウハウを活かせる仕事の場(出向先)の拡大、グループ全体の総合力を発揮し、コストダウンを徹底した効率的な事業運営、などを求めてきました。エルダー社員の技術やノウハウ、資格等を活用できる業務について、グループ会社等への委託を拡大することを「基本的な考え方」に「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」について提案を行ってきました。

具体的な委託業務は以下のとおり

○車両センター、総合車

現行、委託している業務に加え、以下の業務を一括して委託する。

- ① 構内車両移動(入換機関車による入換、トラバースによる車両移動等)
- ② 在来線車のパンタグラフ修繕
- ③ 空気圧縮機修繕
- ④ 塗装

なお、これら以外の業務についても従来どおり、各総合車両センターの状況により委託を実施していくこととする。

実施時期については、「平成22年4月1日以降」とし、具体的には各支社において実施する。」と、しています。

国労東日本本部は、この提案をうけ内容については業務連絡報(第943号)にて明らかにするとともに、11月5日の各地方本部・地区本部業務部長・職協議長会議にて今後の取り組みについて議論をし、11月9日に第1次の解明要求を提出、今後対策委員会などを設置し闘いを進める意思統一をしました。(解明要求内容及び運動協定の議論は2面掲載)

検修部門の『全面外注化』提案される

国労東日本 申3号で解明要求を提出

10月29日、会社は、エルダー社員の技術力・ノウハウを活かせる仕事の場(出向先)の拡大、グループ全体の総合力を発揮し、コストダウンを徹底した効率的な事業運営、などを求めてきました。エルダー社員の技術やノウハウ、資格等を活用できる業務について、グループ会社等への委託を拡大することを「基本的な考え方」に「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」について提案を行ってきました。

不採用問題で、国会議員要請を展開 不採用から23年、一日も早い解決を 東日本管内の地元国会議員に全地本が取り組む

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」についての説明要求（国労東日本申3号）

1. 検査業務である「仕業検査」が委託会社で施工され、JR東日本を介さずに直接営業線に運用されることについて、企業としての社会的信用・信頼からすると大きな問題点を内包していると考え、会社としての見解を明らかにすること。
2. 構内作業を含む車両検修職及び構内運転士の将来展望を明らかにすると共に、今後の要員需給について明らかにすること。
3. 技術力の維持・継承は喫緊の課題と考えるが、将来にわたっての車両検修職社員の育成という観点からすると、重要な案件を含むと考えるが会社としての見解を明らかにすること。
4. 既に一部支社においては、「車両検修職社員のライフサイクルの見直し」が提案され整理が図られているが、今事案の実施後は、どのようなライフサイクルとなるのか明らかにすること。
5. 事案実施後の異常時を含めた指揮命令系統についての考え方を明らかにすること。
6. 出向に際しては、本人希望を尊重することは勿論のこと、出向及び直轄の選択基準についての基本的な考え方について明らかにすること。
7. 「鉄道事業の経営基盤をより強固のものとして必要である」とあるが、これまでの間にも重大な輸送混乱等が頻発し、監督官庁から「警告書」等が複数回にわたり発せられているが、車両故障に起因するものも少なくない。こうした現状は経営の根幹を揺るがしているものであり、看過することは出来ないと考え、現状の認識について明らかにすること。



国会議員要請を取り組む前段の意思統一



国会前での座り込み要請

国労東日本本部は10月28日、JR不採用問題の早期解決を求めて取り組まれた「4者・4団体」の10月中央行動の一環として、地元選出の衆議院議員に対する要請行動を展開した。
参加者の意思統一で挨拶した佐藤副委員長は「いよいよ新政権下での臨時国会が召集された。やれることは全てやりきり、なんとしてもこの機に解決を！」と訴えた。

運輸協議会第21回定期委員会を開催 検修部門の全面外注化に議論が集中

東日本運輸協議会は2009年10月16日、交通ビル3F会議室において、第21回定期委員会を開催しました。

委員会は後藤事務長の司会で始まり、委員・役員全員の出席を報告し委員会の成立を確認。その後、座長に東京・林委員を選出し、進行しました。

①JRの中をみても、昨年秋から社員・関連労働者の死傷事故が相次ぎ発生し非常事態宣言も出されたが、現在もその状況は続いています。これは、会社側の合理化による仕事丸投げ外注化施策やコンプライアンスの欠如によるものが大きな要因となっています。

②今職場で話題となっている検修業務の外注化問題の現状と取組みについて

(イ) 安全な車両を提供していく立場で取組む。
(ロ) 外注化に反対する他労組組合員を巻き込み要求の多数派となる。」と挨拶。経過報告と運動方針(案)を一括して提案したのち、質疑応答に移りました。

★職場で傷害事故が発生したが、その後CS会議が頻繁に行われた。分会が要求した対策も行われた。

★新幹線新青森駅開業の時期が迫ってきているが、職場ではアンケート調査が実施され希望調査も行われ、まだ明確になっていない要員配置で職場では不安の声が日に日に高まっている。

★指令のレベル低下がな



はだしい、何とかしてほしい。

★事故等で駅間で停車したとき、乗客の降車は何分後から行うのか、判断を示してほしい。ケースバイケースでは判断しにくい。

★検修業務の外注化問題では、職場でうわさが先行している。他労組組合員の中には諦めから会社へ擦り寄っている姿も見受けられる。

★遠距離通勤問題では、戻る順番を見ればまだ差別されている。

★水戸動労のストライキがこの間3回あった。代替要員として少人数の国労にきている。

★インフルエンザ対策では、是非、法定伝染病扱いしてほしい。

★首都圏では運転士の「ライフサイクルの深度化」で2回発令があった。発令者の傾向について検証している。

など、多数の活発な意見・質問が出されました。

その後、役員改選に移り、新潟・高崎選出の副議長が交代した以外、その他の役員についての再任を全体の拍手で確認し無事終了しました。

医療の進化にあわせた、
アフラックのいちばん新しい
「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える
アフラックのがん保険

「生きる」を創る。
Affac

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

■専集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4月18日